

技能・技術優秀士

五感を駆使して創り出す
熟練の香りのもと

線香原料製造工 32年

株式会社 天年堂

しばお

しゅんぞう

柴尾 俊三さん

(54歳)

「線香の品質の良し悪しは灰の落ち方に現れます」と話す柴尾さん。原料となる国内産や海外産のタブやスギの葉の粉末を吟味し、長年の経験で数種類の粉を混ぜ合わせ、各メーカー仕様の粘りを引き出します。「メーカーさんからの良かったよという言葉が一番の励みになります」と話します。現在、30～40代の部下を指導。お線香の硬軟、立ち消え、2.5cmで灰が落ちるなど、マニュアル化できない手技の感覚を伝えるため、目で見ても手で触ることを繰り返して、体験しながら覚える勉強会等を定期的に行っています。



天年堂のオリジナル線香。